

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公開番号】特開2012-54456(P2012-54456A)

【公開日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2010-196766(P2010-196766)

【国際特許分類】

H 01 L 33/48 (2010.01)

F 21 V 19/00 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 4 0 0

F 21 V 19/00 1 5 0

F 21 V 19/00 1 7 0

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月28日(2013.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被照射面を照射する発光装置であって、

前記発光装置は、

帯状の基板と、

前記基板の長手方向に沿って所定の間隔で前記基板の実装面に実装される複数の発光素子と、

前記長手方向に沿って前記所定の間隔で前記実装面に実装され、各々の前記発光素子から出射される光を各々入射するとともに、入射した光の配光を制御して入射した光を照射方向に向けて出射する複数の光束制御部材と、

を有し、

前記基板は、

前記長手方向に沿って所定の間隔で形成されるとともに前記長手方向において隣り合う前記光束制御部材の間で幅方向の両端に一対ずつ形成された破断面を有し、

前記一対の破断面間の前記幅方向における寸法が前記光束制御部材の前記幅方向の寸法よりも小さいとともに、平面視した際に前記光束制御部材と重なり合う部分の前記幅方向の寸法が、前記一対の破断面間の前記幅方向における寸法よりも小さい発光装置。

【請求項2】

請求項1記載の発光装置と、

前記発光装置の前記光束制御部材より出射された光により照射される被照射面と、

を有する照明装置。

【請求項3】

複数に分離することにより発光素子及び光束制御部材を実装する複数の帯状の基板が形成される多面取り用基板であって、

前記発光素子及び前記光束制御部材を実装する実装面と、

前記分離の境となる各分離線上に所定の間隔で設けられるとともに厚み方向に貫通する貫通孔と、

前記分離線の各々において隣り合う前記貫通孔の間の前記分離線上に設けられ、前記多面取り用基板の表面である前記実装面及び裏面の少なくとも一方から所定の深さまでの溝である切断ガイド部と、

を有し、

前記貫通孔は、前記分離線に対して垂直な線上に所定の間隔で設けられ、

前記実装面は、前記垂直な線上において隣り合う前記貫通孔により挟まれる領域において、平面視した際に前記貫通孔の全部または一部と重なり合うように前記光束制御部材が実装される多面取り用基板。